

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【公表番号】特表 2019-525753 (P2019-525753A)

【公表日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-037

【出願番号】特願 2019-501644 (P2019-501644)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/62 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 0 7 K 14/82 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/64 (2017.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 35/12 (2015.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/62 Z N A Z

C 1 2 N 15/63 Z

C 0 7 K 14/82

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

A 6 1 K 47/64

A 6 1 K 38/16

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 35/12

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 7/08

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 17 日 (2020.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 の 89 位の残基 X がシステインではない配列番号 1 のポリペプチド、または配列番号 1 の 89 位の残基 X がシステインではない前記ポリペプチドの機能的に等価な変異体を含んでなるポリペプチド。

【請求項 2】

前記機能的に等価な変異体が、配列番号 1 のポリペプチドに対して 1 種またはそれ以上のアミノ酸の欠失、挿入または付加から生じる任意のポリペプチドであるか、または配列番号 1 のポリペプチドの化学的修飾から生じ、配列番号 1 の 89 位の残基 X がシステインではない配列番号 1 の腫瘍抑制活性を実質的に保存する任意のポリペプチドである、請求項 1 に記載のポリペプチド。

【請求項 3】

前記ポリペプチドが、

a) 配列番号 1 の 89 位の残基 X がシステインではない配列番号 1 のポリペプチドからなるものであるか、または配列番号 1 の 89 位の残基 X がシステインではない前記ポリペプチドの機能的に等価な変異体からなるポリペプチド、および

b) 配列番号 3 の 89 位の残基 X がシステインではない配列番号 3 のポリペプチドからなるポリペプチド

からなる群から選択されるものである、請求項 1 または 2 に記載のポリペプチド。

【請求項 4】

配列番号 1 の 89 位の残基 X がセリンまたはアラニンである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のポリペプチド。

【請求項 5】

配列番号 4 からなる、請求項 4 に記載のポリペプチド。

【請求項 6】

a. 請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のポリペプチドまたは該ポリペプチドの機能的に等価な変異体と、

b. 前記ポリペプチドまたは該ポリペプチドの機能的に等価な変異体の細胞内取り込みを促進する化学的部分とを含んでなるコンジュゲート。

【請求項 7】

前記ポリペプチドまたは該ポリペプチドの機能的に等価な変異体の細胞内取り込みを促進する前記化学部分が細胞透過性ペプチド配列であり、該細胞透過性ペプチド配列と前記ポリペプチドまたは該ポリペプチドの機能的に等価な変異体とが融合タンパク質を形成するものであり、好ましくは前記細胞透過性ペプチド配列が、GRKKRRQR (配列番号 38) および RRRRRRRL (配列番号 39) からなる群から選択されるものである、請求項 6 に記載のコンジュゲート。

【請求項 8】

更なる核局在化シグナルをさらに含んでなる請求項 6 または 7 に記載のコンジュゲートであって、特に該核局在化シグナルが、PKKKRK V (配列番号 6)、PAAKRV KLD (配列番号 54) および KRPAA TKKAGQA KKKK (配列番号 7) からなる群から選択されるものである、コンジュゲート。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のポリペプチドまたは請求項 6 ~ 8 のいずれか一項に記載のコンジュゲートをコードするポリヌクレオチド。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のポリヌクレオチドを含んでなるベクター。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のポリペプチド、請求項 6 ~ 8 のいずれか一項に記載のコンジュゲート、請求項 9 に記載のポリヌクレオチド、または請求項 10 に記載のベ

クターを含んでなる宿主細胞。

【請求項 1 2】

薬学的有効量の請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のポリペプチドまたは該ポリペプチドの機能的に等価な変異体、請求項 6 ~ 8 のいずれか一項に記載のコンジュゲート、請求項 9 に記載のポリヌクレオチド、請求項 1 0 に記載のベクター、または請求項 1 1 に記載の宿主細胞と、薬学的に許容される賦形剤とを含んでなる医薬組成物。

【請求項 1 3】

治療において用いられる、請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 4】

癌の予防および / または治療に用いられる、請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 5】

前記癌が膠芽腫および非小細胞肺癌からなる群から選択されるものである、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。